

トウオネロ



死の国 Tuonelan と現世との境を流れる黒い川。
悲哀に満ちたその場所で踊り続ける者たちがいた。

2024.12.22.[sun] 16:45開場 17:00開演 ※約30分のパフォーマンス
後トークを実施します

穂の国とよはし芸術劇場PLAT 創造活動室A

公演詳細・WEB 申込 



Tuonelan

入場
無料

2024.12.22.[sun] 16:45開場 17:00開演 ※約30分のパフォーマンス
後トークを実施します

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 A

振付・構成・演出・音楽(一部):大森瑤子

出演:大内涼歌、大森瑤子、尾上実梨、水谷マヤ、八木橋華月

2024年度滞在アーティストの大森瑤子は、12月13日(金)から22日(日)まで豊橋市内に滞在し、穂の国とよはし芸術劇場PLATにて新作ダンス『Tuonelan』(2025年2月8日、9日「Choreographers 2024」新潟公演にて上演予定)のクリエイションを行います。最終日には滞在制作の成果発表として来年2月の公演に先駆け、現時点での作品を披露するプレショーイングを開催します。間近でダンスを鑑賞し、アーティストと作品等について対話できる機会です。ダンスに興味のある方はもちろん、今まで観たことがない方も歓迎です。皆様のご参加をお待ちしています。

何の愛着もない世界は、つまらなくて美しくないでしょうか。

この作品は、死の国と現世との境を流れる川で泳ぐ白鳥をイメージした、ジャン・シベリウス作曲の『トゥオネラの白鳥』という曲から着想を得ています。

愛する人と結ばれずに現世に未練を残しながら死んでいく物語はいくつかありますが、黒い川で悲しげに踊る白鳥の姿を想像させるトゥオネラの白鳥にもそのような切なさや美しさを感じています。

しかしそれとは反対に、自分にも他者にも何の愛着も執着もなく淡々と同じリズムを刻みながら存在する世界のようにも感じます。

悲しげに見える世界でも本当はもっと何もない世界なのかもしれないし、それでも美しいのかもしれない。

大森瑤子

©Nora Houguenade

大森瑤子 Yoko Omori

日本女子体育大学卒業。クラシックバレエやストリートダンスなどを経験。様々なジャンルを交差させるような独自のスタイルで、ソロやグループなどの作品を創作。ヨコハマダンスコレクションにて 2019 年にコンペティションII最優秀新人賞、2023 年にはコンペティションIにて若手振付家のための在日フランス大使館賞・ダンス リフレクションズ by ヴァンクリーフ & アーベル賞、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞をダブル受賞。2022 年パリ Danse élargie にて第 2 位などを受賞。これまで国内外 5 都市にてグループ作品「Help」、2023 年イタリア、フランスにてソロ作品「PLAIN-chan」などを発表。

穂の国とよはし芸術劇場PLAT<ダンス・レジデンス>

国内外で活躍するアーティストに新しい作品創造のための稽古場と滞在場所を提供し、アーティストへの支援・育成をおこなうとともに、アーティストによるワークショップ・試演会等を開催し、市民のダンス活動の活性化を図るプログラムです。2025年1月より2025年度アーティストの公募を開始予定。

○事前申込・お問合せ

プラットチケットセンター

☎0532-39-3090[10:00-19:00 休館日を除く]

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

<https://www.toyohashi-at.jp/>

公演詳細・WEB申込

